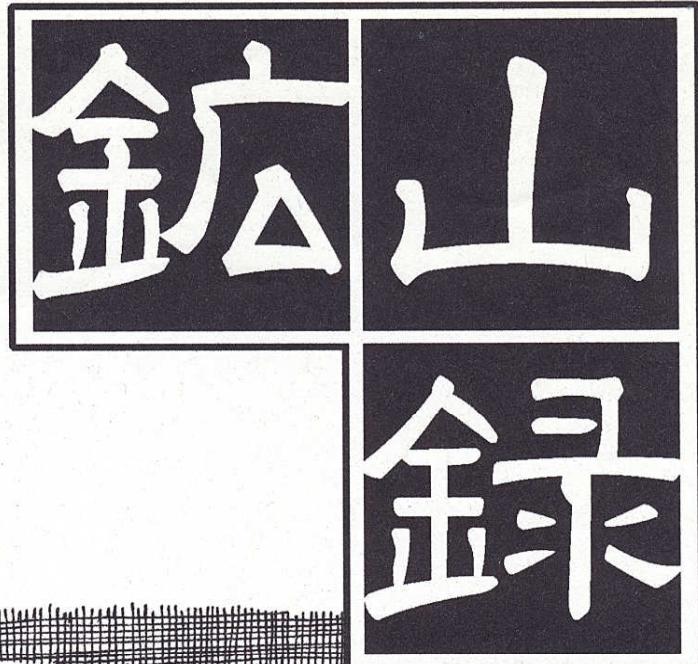


# The Correspondence of Noboribetsu City Nature Center

登別市ネイチャーセンター ふおれすと鉱山  
ニュースレター



えぞふくろう

Illustrated by Hiyama T.

## Contents

Vol. 11  
Jan. 2005

特集 シリーズインタビュー② 武田 博さん（登別市教育委員会）	
ふおれすと鉱山という協働型教育現場……………	2
オープンから 32 ヶ月の活動報告……………	4
使える小ネタ集……………	5
リトル・ヴォイス～リレーエッセイ～……………	7
お知らせ&わいわいどれしひ……………	8



# ふおれすと鉱山という 協働型教育現場

きめ細かさやサービスの質は  
想像をはるかに超えていた。

●今日はふおれすと鉱山を教育的な視点と協働という視点でお聞きしたいと思います。まずは、ふおれすと鉱山が出来てから3年経ったのですが、登別市にとって良いことはあったのでしょうか。

武田：子ども達の体験の場にしたい。子ども達だけでなく、市民の心の癒す場所にしたい。っていう提案が出ていて、ふおれすと鉱山を作るという風になったんだけど、スタートしてみて、上田さんとか遠藤さんとか、スタッフがやってきて、今展開している仕事は、我々が思っていたよりもきめの細かいサービスをね、してくれているよね。昔はね、木に登って実を探ったり、笹舟作ったり、そんな単純な遊びでね、それでもいいじゃないかと思っていた程度だったんだけど、更に工夫と細工を加えてもらってね、細かい内容で、良くやってもらってるなと思ってる。

●ありがとうございます。でも、僕らも、教育長がやっていたような、山で木の実を探って笹舟で遊ぶような、根元的な遊びを子どもたちがやってくれるようになることが目標もあるんです。

武田：要するに子ども達も含めて逞（たくま）しくなってほしいんだよね。一生懸命ガリ勉してなんになるのか。やっぱりそこに体験だとか、創作力、創造力、そういうのが加わって初めていい社会人になっていくんじゃないかな。

●そうですね。生きる力を育てたいですよね。ここまで活動についての市の評価という部分は、僕らも気に

登別の環境教育拠点として活動してきたふおれすと鉱山。教育の場として、協働の場として、この施設はどう見られているのか。登別市の教育を取りまとめる「教育長」武田博さんに話を聞いた。

なる部分なのですが・・・。

武田：我々が考えていたよりももっと細かく企画化されね、きめの細かいものを作っているんだよね。で、やっぱりその素材になっているのは山であったり沢であったり、雑木であったりね。もっと雑木でね、自然を傷つけることになるかも知れないんだけど、木で色々な物作ったり、やってるよね？椅子作ったり。

●はい、はい。やってます。楽しいですよ。

武田：ああいうのも、子どもたちにとっては知恵の出来る部分だと思ってる。だからもっともっとね、そういう部分を広げて行けたら教育としてはね、いいよね。そういう意味では良くやってくれてると思ってるよ。

一つの団体では出せない雰囲気。  
自然教育のクラスターだ。

●なるほど、よかったです。一つはふおれすと鉱山が教育という部分で役に立てているのかというのが知りたかったんです。もう一つ、ふおれすと鉱山は市民との協働をテーマにしていて、モモンガくらぶというボランティア組織に積極的に運営に参画してもらっているのですが、どういう風に見えているかなと思って。

武田：教育の「押しつけ」という部分ではなくて、子ども達が自分から「来たい」っていう雰囲気、魅力作りではすごい努力されているな。初めから興味ある、行きたいと思わせる活動を作って、PRして、そこに引きずり込んでいく、活動性を引き出すっていう意味で良い活動をしているって思うよ。

●そういう空気を上手く作り出せるなっていうのはありますね。

武田：そういうのはたった一つの団体ではなかなか出せないよね。色々な団体があって、色々な広がりがあるこそ。最近よく産業なんかはクラスターって言うよね。色々な団体が関わってやってることで、自然体験や自然教育のクラスター構造ができあがっているんじゃないかな。

●新しい言葉ですね。いい言葉を聞きました。

武田：期待してるよ。いつでも子ども達が飛び込んでいけるような、そんな風な発信を続けて欲しい。

●ありがとうございます。最近は行政的に市民との協働を推進していて、ふれると鉱山は市民との協働の事例として注目を集めているのですけど、その辺について思うことはありますか？あ、何かがんばらなきゃいけないんじゃないとか。

武田：協働っていうのは、プロセスだよね。商品に行き着くまでの。鉱山でいきなりそれが出来るんじゃないなくて、そこへ行くまでのプロセス。それに関わるという意味で協働っていうのは重要だと思うんだよね。

●そういうプロセスを大事にしていくとか、推進していくという気持ちは、やっぱりあるんですか？

武田：それはふれると鉱山とか教育だけではなくて、ね、産業とか、観光とかももちろんそうなんだよね。ただ登別は温泉が良いから、温泉だけ行っていたいよいと、それだけでは行き詰まってしまう。そこに付加価値をつけるのは業者ではなくて地域の人と協働で入ってくるスタッフなんだ。そういう意味では完成するまでの工夫というか、そこに色々な人が加わるのが協働の良さなんだと思うんだ。そういうのをいち早くふれると鉱山でやってくれた。

●そうですね。良いモデルケースになっていると思いま

す。

武田：我々が考えていた異業種交流だと、商売じゃなくて、もっと優しさとか豊かさとか、そういう部分で発揮されているのがふれると鉱山の協働だと思う。

●ああ、良い話になってきました（笑）。そんな風な人間的な評価をいただけるとうれしいです。教育長がふれると鉱山に、もっとこうなったらしいのじゃないかっていう要望はありますか？

武田：ソフト、どう工夫して広げていくか。今まで十分やってくれていたんだけど、もっともっと面白い物が、場合によっては出来て来るんじゃないかな。今考えているのは、もっとワイルドにダイナミックなプログラムをつくってくれてもいいと思う。鉱山町の地形を利用したね。建物の中でやるような小さなプログラムも大事なんだけど、それと併せてできるのがあったらいいと思うな。ただ子ども達だけじゃなくてお年寄りも。っていうフィールドになれると思う。鉱山はね。

●今は子どもが中心ですが、もっと広く利用してもらえるようになればっていうことですよね。

武田：それと、カルチャーだけではなくて、もうちょっと鉱山らしさは何なのかなっていう部分。の追求が必要なんじゃないかな。

●なるほど、鉱山らしさ、ですか…がんばります。



インタビュー  
武田 博さん

鉱山で育ち、鉱山で遊んだ鉱山っ子。鉱山の成り立ちや関係する人々の生き字引だ。現在は登別の教育を統括する登別市教育委員会教育長。

### 水の管理のこと

ふれると鉱山の飲料水は幌別来馬川の水を利用しています。本流から支流（取水をしている川）に流れる水量が、最近少なくなっています。そのため、十一月に教育委員会の職員にも応援してもらい、川の流れを変える作業を行いました。本流に石組みを作り、水が支流に流れれるようにしました。当然、重機が使えない洞長を履いてスコッ

普の作業、半日がかりの大仕事でした。その結果、大量の水が支流に流れ込むようになり、今年の冬は渴水を心配しなくてもいいことになりました。渴水状態で凍結したら、大変な作業になるのでひとつ安心です。

# 鉱山案内

## 小川邦夫的

# オープンから32ヶ月の活動報告

## ●ふれすと鉱山の主催事業

### 子ども自然教室② 夜の魚を観察しよう 10/23

夜の川にそっと近づいて、そっと魚を観察してみました。そこでは、昼間の川とはまた違った表情の魚たちの様子をじっくりと観察することができました。予定外の大物に出会えたりして、大人も子どもも大興奮の夜でした。



### 子ども自然教室③ 夜の動物を観察しよう 11/21

子どもたちの集中力、本当にすごかった！寒い秋の夜の森でじっと動かないで待ち続けました。森の住人が姿を現したのは、ほんのちょっとの時間でしたが、野生の息づかいを感じて、息を殺して感動する子どもたちの姿が印象的でした。



## ●モモンガくらぶの主催事業

### コーナン秋物語「草木染めと野点（のだて）」 10/16

のどかな空の下、色づいた木々の葉に囲まれてお茶を点てました。手作りの甘いお菓子も食べて、本当に和やかで贅沢なひととき、一同うつとりしました。また、その前に行なった草木染めでは木の実、栗のイガやヤマブドウなど、秋の恵みの染物が、思い思いのデザインと色合いでとっても素敵でした。



### クラフト教室「ランプシェードづくり」 11/14

秋になって、花が散ってしまった後の枯れた草木を利用して、ランプシェードを作りました。周辺の野山で集めた材料を、自分の家のどこに飾ろうかと思い描きながら、皆さん的好きなようにデザインして作りました。どれもが創造力あふれる、自然の姿を活かした作品でしたよ。

## ●ふれすと鉱山とモモンガくらぶの共催事業

### コーナンネイチャーガイド (KoNG) 養成講座最終テスト「夜の動物観察会」 12/5

今年の4月から始まったKoNG養成講座。着実に力をつけてきた受講生の皆さんの最終テストとして、動物観察会を自分達でプロデュースします。下見からプログラムの作成、役割分担、道具の用意など、すべて自分たちで行いました。皆さんの熱い想いが伝わるプログラムでした。今後も楽しみ。

ボランティアの  
つぶやきコーナー  
**コレが熱い!!**

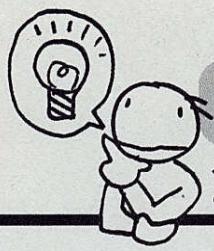
いよいよ来春から始動するモモンガくらぶプロデュース  
「鉱山ネイチャーガイド（通称KoNG）」、そこにはどんな  
熱い想いが隠されているのでしょうか。

「ふれすと鉱山の来館者に対し鉱山町の自然環境を安全に的確に案内できる人材を育成し、その資質・品質を保持する。」そんな目的で鉱山ネイチャーガイド(KoNG)育成制度が4月にスタートした。自然が好き。人が好き。春夏秋冬それぞれの季節に親しみ、癒されてきた私にとってこの「ここちよさ」をたくさんの人達に伝えたい。そんな想いで参加した。

理想のガイド像「何でも知っている人になる」のは、それはそれは大変な事だったが、KoNGの仲間と一緒に体験していくうちに自然の楽しさを見つけることができた。最後の実習の「夜の動物観察会」のプログラム作成には、寒い中何度も下見を繰り返し、どうしたら「ねらいと流れのある」プログラムになるのか真剣に取り組んだ。実施の前日、スタッフに「甘い」との指摘を受け、どうしたら「ドラマチック」に伝えられるのか。今夜しかないぎりぎりの時間の中、皆で話し合い、何とか形になって当日を迎えた。残念ながら、悪天候で中止となったが、取り組んできた事は私にとってすばらしい体験になった。何よりも森の動物達が大好きになった。

ガイディングは何気ないことから感動を引き出す術を身につけなくてはいけない。そのために細やかな準備が必要。そしてプログラムを実行するには仲間の協力が本当に大切である。自然の下に集まつたKoNGの良さを改めて感じた。いよいよ来春からのスタート。理想的なガイド像にはまだ届かないが、「鉱山町の自然を多くの人に伝えたい」という想いだけはいつまでも持ち続けたい。

(酒井千鶴/モモくら)



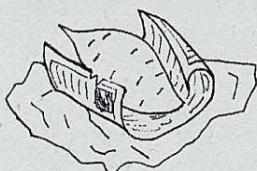
# 使える？ふあれすと鉱山 小ネタ夕集⑧

ふあれすと鉱山のプログラムは、小ネタ（アクティビティ）の連なり。  
ここでは使えるアクティビティを特別にご紹介。

## おいしい自然遊び

ふあれすと鉱山は、オープンして以来実際に多くの自然遊びを開発・提供してきました。その中でも、なんだかんだ言って確実に楽しめるのは、「食べる」遊びです。今回は特に、屋外にある物を使って作るおやつを紹介します。めいっぱい外遊びをしたあとの休憩時間に用意してもいいし、おやつ作りそのものをプログラムにしてもいいでしょう。さあ、寒いからこそ、外でおいしいものを食べましょう！（別コーナー『えんめぐのわいるどれしづ』も参考にしてね）

### 焼きイモを作ろう



寒い日は、とにかく焚き火をしましょう。焚き火といえば、そう、まずはなんと言っても焼きイモです。火にあたって身体が十分に暖まったころには、焚き火は焼イモにちょうどよい「オキ」になっているはずです。そこにサツマイモを投入するのですが、サツマイモを濡れた新聞紙にくるみ、それをさらにアルミホイルでくるんでから、火に入れるとよいでしょう。新聞紙に含まれた水分が、うまくサツマイモを蒸すような作用と、焦げ付きを防ぐ効果を生み出し、15~20分ほどでとてもおいしい焼きイモができます。食べるときは、軍手をしたままイモを持つと手が熱くなく、食べやすいです。

### マシュマロトースト

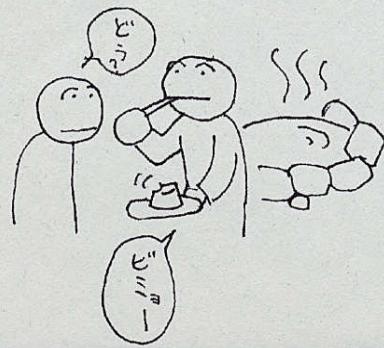
焼イモを焼いている間に、マシュマロトーストを作ります。市販のマシュマロを、その辺に生えているクマザサだとか落ちている木の枝に刺して、火にかざします。「遠火の強火」を維持しながらじっくりあぶり（マシュマロが火の中に落ちないように注意！）、マシュマロの表面が程よいキツネ色になったら食べごろです。表面はパリッと、そして中からはしっとりとした、普段食べるマシュマロとは全く食感が口の中に広がります。ショッパイおつまみが好きな、酒好きな方にとってはやや甘すぎるかもしれません、甘いものが好きな子ども達にはとても人気のあるおやつです。



### クマザサ茶



焼イモやらマシュマロやらを食べるとお茶が欲しくなるので、クマザサ茶を作る事にしましょう。「えんめぐのわいるどれしづ」でも紹介したことがあるのですが、クマザサの葉を細かく裂いて、フライパンでカラ煎りしたものを10分ほどヤカンで煮出します。煮出すときに、緑茶を少し足してあげると、口当たりが良くなります。といえばこのクマザサ茶、このまえ行った登別温泉で「北海道限定！蝦夷熊笹茶」とすごい名前がついて売っていました。香ばしい中にも、胃の奥がカッと熱くなるような風味が、北海道を訪れる方々にも好評なのでしょうね。調べてみると、なんでもクマザサに含まれる「クマザサ多糖体」という成分が自然治癒力を高めてくれるんだとか…。



### 温泉ゼリー

鉱山町にある秘湯・川又温泉を使って何かできないものかとシャニムになって編み出したのが、この温泉ゼリーです。チャック付きのビニール袋やタッパーに、スーパーなどで売っているゼリーの素と川又温泉のお湯を入れ、十分にゼリーの素を溶かします。そして、温泉のすぐ横に流れる川で冷やすとできあがりです。野趣あふれる、といえばその通り、強引といえばあまりにも強引ですが、まさか温泉でゼリーを吃るとは…という意外性が何だかおかしくて、子ども達と一緒に作っています。

（上田 Program D）

# 森の楽しみ方

たつあんのドロノキ日記アナログ版

## ③動物の足跡を追って

見たことのない動物達に出会いたくて時折ほっつき歩く森の中。今、辺り一帯は雪に覆われていてササと葉を落とした木々、常緑の松が立ち並ぶだけの風景。一見何も無いような森ではありますが、この季節は、動物たちの生活を垣間見ることのできる絶好の機会でもあります。一步足を踏み入れるといたるところに動物たちがいた形跡をたやすく目にすことができるのです。雪面に松の枝先だけがぽろぽろ落ちているのを見つけたら、それはモモンガの食べ残しかもしれません。よく見ると葉っぱが半分だけ食べられているのに気付くはず。残された足跡なんかを追っていくと面白い。“どうやって歩いてこうなったの??”“ここで木の皮を食べたんだ~”“このネズミ、キツネに後をつけられてる?!!、、、、”その足跡をつぶさに観察していくと、動物たちの存在はもちろんのこと、その大きさや習性、いつ・何時・何をしていったのかがわかつたりします。彼らがこの森で生きぬくために繰り広げていた様子を想像しつなぎ合わせていくと、閑散とした森の風景が実に生き生きと目に映ってきます。今宵の森ではどんなドラマが、、、?



text & illustration 本山達朗

## 森の賢者フクロウの顔

えんどうめぐみの  
森のひみつシリーズ ⑪



へんなカオだけど  
すごいんだぞ。

愛嬌のある顔。夜に音もなく飛ぶ姿。どこか崇高な雰囲気を身にまとう鳥、エゾフクロウ。フクロウは、鳥好きの方の中でも、人気が高い鳥だと思います。黒くつぶらな瞳、まんまるでどこか愛嬌のある顔。ジツは、その顔、カワイイだけじゃなく、生き抜く上でのいくつもの秘密が隠れています。

フクロウの眼は正面を向いてます。これは、人間と同じで立体的に物を見る事ができる構造です。感度も高く、わずかな光でも獲物をくっきり見ることができますと言われています。あまりに感度がよいため、昼間はまぶしくてしかたないようです。

耳は獲物を捕まえる上で目よりも重要な役割をしています。獲物が出すわずかな音を捉えるためですが、一見、耳は無いように見えます。実は顔の羽毛の下は全て耳。顔中が耳といってもいいくらい大きく、右と左の耳の穴は、上下にずれています。

左右の耳に届いた音のずれで、正確な位置を捉えるためです。

また、顔がくるりと回るのも特徴のひとつ。ヒトの首の骨は7個ですが、フクロウは首の骨が14個。骨の数分首が柔らかいのですね。（体を動かさず270度首を回すことができるそうです）。眼球の構造上、横目でちらりというのはできないので、そのかわり、音のした方に首がぐるりと回り、顔全体で音を受け、わずかな光でも獲物の姿を見つけ、獲物をゲットする。フクロウの姿かたちは、夜に適応しているのです。これから早春にかけて冬の夜の森で声を聞くことがあるかもしれません。

# リレーエッセイ Roots and Shoots リトル・ヴォイス

## 憧れのネイチャーセンター

本山 幸江

今年の夏、機会があって「ジュニアチャレンジキャンプ」にスタッフとして参加しました。海から山の頂を目指すチャレンジと共にし、サポートする役割。とはいっても自分にも未体験なものばかりで、参加した子供達とともにチャレンジする事の方が多かったのが本当のところですが。

色々な体験の中で素敵な表情を見せる子ども達。側にいながら私自身も素直に楽しみ、その思いを共有していました。普段やったことのない体験の中で初めて知ることや改めて見直すこともあります。自然が舞台だから開放される自分、あきることなくうまれる楽しさ。めいっぱい五感を働かせ感じ取ることのできる舞台。自然は子ども達にいろんな広がりや可能性を生み出す種を与えることのできる大切な要素。私にはそのすばらしさをうまく伝える術はなかったかもしれません、自分のスタンスってそれで良かったんだと思います。共感が子どもたちに残すものはとても大きいと思うから。でも、私が幼い頃、自然に触ることは多かったけど、いろんな大人が関わることで違ったものの見方や、広い考え方を持てたのではないかとも思えます。だから、気付きや学びを導く大人がいることでもっともっと、、、。

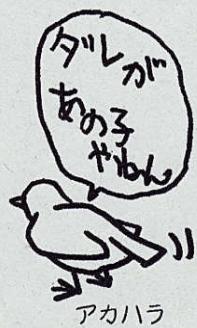
それがかなうところがふおれすと鉱山。何故なら、周りに様々なスタイルや投げかけで気付きや学びを導く色んな人がいて、いつの間にか引き込まれていく私がいるから。ここへ来るとトテモすっきりした気分になれます。スタッフやいろんな技を持つ人が集う鉱山は「また何かおもしろいことがありそう」なんていつも期待してしまう場所なのです。

### ほんねのタップ⑦「この子」に「あの子」?!

ここで働きはじめて間もない頃、少々不安の入り混じった緊張感の中で仕事をしていたのを覚えています。なにせ自然を紐解くスペシャリストたちの中で仕事をするのですから…自分に務まるのか…と。仕事をしていたある日のこと。誰かが机に向かったまま話しかけました。「この子、昨日も来てたよね」(ん?この子って?)「そうね。もうそんな頃か。」PCから目線もそらさず答えます。「やっぱりあそこがお気に入りなのかね、あの子は。」(えっ?!…だれ??がどこに?)皆、机に向かったまま仕事を続けていて、私だけ一人キヨロキヨロするばかり。後で聞くとアカハラという鳥が去年と同じ木の梢にやって来て鳴いていたらしい。その後も幾度となく耳にした「あの子」と「この子」。それから数ヶ月。プログラムで子どもたちと話しながら動物相手に無意識に出た言葉「この子はね…」。生き物に寄せるスタッフたちの思いにちょっと近付けたような気がした瞬間。一人密かに心がホクホクしてたりするのです。目の前の子どもが興味津々聞いてきます。「この子って誰?!…」。(M)



四月からのふおれすと鉱山研修スタッフの本山のお嬢さん。行事などでお手伝いに来てくれる時は素敵なお笑顔で周囲を明るくしてくれる。胆振で教員を務める。モモンガくらぶ会員。



# EVENT INFORMATION

ふぉれすと鉱山の事業

## イベントチエック

- |                   |  |
|-------------------|--|
| 1/14(金)<br>～16(日) | 「冬休みスペシャルウィーク」                             |
| 1/22(土)           | モモンガくらぶ主催「歩くスキーを楽しむ①」                      |
| 1/23(日)           | ふぉれすと&モモくら「そり作りに挑戦②」                       |
| 2/6(日)            | 「冬まつり」<br>ふぉれすと&モモくら<br>「そり作り③ 山神社カップ2005」 |
| 2/11(金)           | モモンガくらぶ主催「歩くスキーを楽しむ②」                      |
| 2/12(土)<br>～13(日) | ふぉれすと鉱山「雪中キャンプ 高学年」                        |
| 2/26(土)<br>～27(日) | ふぉれすと鉱山「雪中キャンプ 中学年」                        |

ふぉれすと鉱山の！

冬休み

## スペシャルウィーク

今回もみんなで楽しめるイベント満載！

**2005**

**1/14～1/16**  
(金) (日)

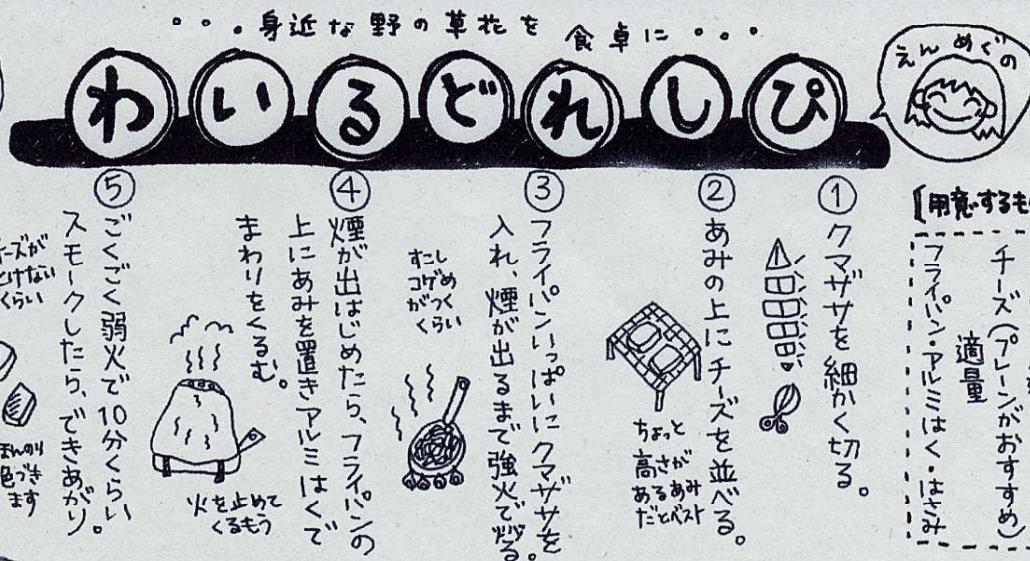
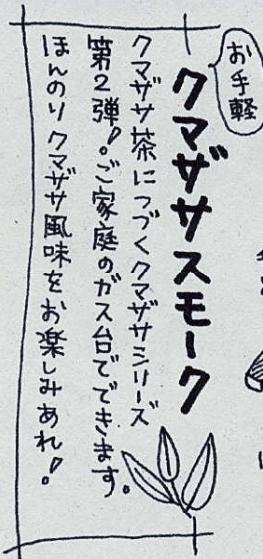
- 1/14…草木染め＆紙漉き、  
初めての歩くスキー  
1/15…楽器を作ろう！ミニミニクラフト  
フルクローレコンサート  
1/16…KoNGのアニマルトラッキング  
ともこおねえさんの何でも図画工作  
などなど、楽しいプログラムいっぱい！

イベントのお問い合わせ・お申込みは「ふぉれすと鉱山」

TEL.0143-85-2569

FAX.0143-81-5808

まで、お気軽にどうぞ。



## ふぉれすと鉱山ご利用のご案内

開館・9:00～17:30

入館料・無料

休館日・毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日が休館となります）

- ・工作室・図書室はご自由に使っていただけます。そのほかに双眼鏡、歩くスキー、調理台などをご利用いただけます。

## EDITOR'S LOUNGE

心を亡くすと書いて「忙しい」とはよく言ったものだ。忙しいと、①頭が上手に回らない。②創造的な気持ちが生まれない。③生活が怠惰になる。④身も心も休まらない。自分が自分でなくなってしまう時間、自分の心がどこにあるのか分からなくなってしまう時間。今年はそんな時間を減らしていきたいと思う今日この頃だ。

## おくづけ

登別市ネイチャーセンター通信誌「鉱山録」 Vol.11

発行：2005年1月

発行所：〒059-0021 北海道登別市鉱山町8-3

電話番号：0143-85-2569 FAX: 0143-81-5808

E-Mail : kouzan@pluto.plala.or.jp

URL : [www.city.noboribetsu.hokkaido.jp/forest/index.htm](http://www.city.noboribetsu.hokkaido.jp/forest/index.htm)